

【放課後等デイサービス自己評価表等の実施結果】

厚生労働省が定めるガイドラインに基づき、①事業所における自己評価総括表、②保護者等からの事業所評価結果、③事業所における自己評価結果を公表いたします。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様には心より感謝申し上げます。これらを参考とし、今後の支援等に活かしていきます。(2025年7月公表)

公表事業所における自己評価総括表			
○事業所名	すてつぷ		
○保護者評価実施期間	2025年6月27日～2025年7月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年7月15日～2025年7月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年7月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮について。	通路や活動スペースに影響がないように、物品や機材の保管に注意しています。特性に応じて、視覚的な表示や安全面の対応を工夫しています。	環境上の配慮が必要な点の有無を確認、対応を図る。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会の確保について。	感染や医療安全に関する内容や虐待防止等、機構、院内、県や市の研修を受講しています。	関連情報等を共有し、職員同士が深め合う機会を持つ。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等による確認について。	アセスメントによる確認を強化する必要があります。	児童のアセスメントの5領域20項目の利用等。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援やきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援について。	交流の機会については、これから検討していく段階です。	保護者の意向確認、機会の検討。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について。	直接的な触れ合いの場として、交流の機会を設けるのは難しい状況です。	地域の情報を得て、可能性の検討。